

企画展

ふしめの儀式

2021年 5月13日(木) - 6月16日(水)

【開館時間】 10:00 ~ 16:30 (入館は閉館の30分前まで)

【休館日】 土曜・日曜 **学内限定公開**



入館
無料



 東京家政大学博物館
東京家政大学内・百周年記念館5階展示室

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 Tel.03-3961-2918
<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/museum/>



新型コロナウイルス感染症等の事由により会期等が変更になる場合があります。最新の情報は当館HPをご確認ください。

ふしめの儀式

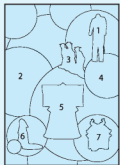
学内限定公開

2021年 5月13日(木) - 6月16日(水)

人生において、入学や卒業、成人、結婚などを「ふしめ」とらえ、現在でも祭祀や儀式が行われていきます。通過儀礼と呼ばれるそれらと共に、時季によって催される年中行事も、人々の生活環境や社会情勢、文化に作用されながら、時代に伴って変化してきました。通過儀礼のなかでも特に重要視される冠婚葬祭は、明治維新と太平洋戦争を大きな境目として、徐々に現在の形式が整えられました。

こうしたふしめの儀式が行われる日は、普段とは違う装いに身を包むことで、儀式の重要性や非日常性が示されました。参加者の服装が規制として定められていたものもあり、人々がいかに儀式における装いに重きをおいていたかをうかがい知ることができます。

本展では、通過儀礼のうち大学生にとって最も身近といえる成人式から一生を終えるまでの儀式に加え、年中行事について、その装いを中心に紹介していきます。また、どのようにして形式が移り変わったのか、変化のようすにも目を向けます。



- 1: 奏任文官大礼服 大正3年頃
- 2: 一ツ身 黒縮緬地菊菊重横模 (部分) 大正時代
- 3: 女乳式内婚礼之図 (部分) 明治26年
- 4: 丸帯 波に鶴模様錦 (部分) 昭和17年
- 5: 打掛 皇縮緬地松竹梅鶴亀模様 江戸時代末期~明治時代
- 6: ウェディング・ドレス ベール 昭和42年
- 7: 厨子髷 18世紀以降 (推定)

【開館時間】10:00~16:30 (入館は閉館の30分前まで)
【休館日】土曜・日曜 【入館料】無料



8



9



10



11



12

- 8: 裳 白三重禪文 胡竹尾長鳥模様 大正4年
- 9: 振袖 紅輪子地杖垂桜模様 平成19年
- 10: 海軍将官通常礼装 大正10~13年頃
- 11: 丸帯 鳳凰花模様錦 (部分) 昭和2年
- 12: 犬髷子 昭和時代

☆常設展のご案内【入館無料】

① 常設展① 学園の歴史

- ・学園の歴史と創設者
- ・波辺学園裁縫箱形コレクション
- ・波辺学園の歩み

② 常設展② コレクション展示

日本の食・調味料のさしすせそー



東京家政大学博物館

東京家政大学内・百周年記念館5階展示室

〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 Tel.03-3961-2918

<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/academics/museum/>

新型コロナウイルス感染症等の事由により会期等が変更になる場合があります。最新の情報は当館HPをご確認ください。